



図書室の本を買ってくれたのはだれ?

図書室の本が無料のなぞ

ぜいむさんたちが調べた結果、なんと300万円以上の本が図書室にあることがわかりました。

よし子さんは、「こんなにお金がかかっているのに、ただで借りられるなんて、よく考えると不思議ね」と、校長先生や教頭先生に聞いてみることにしました。



国民が納めた「税金」で、
この本を買っているんだよ。
だから、借りるとき
お金を払う必要はないんだよ。

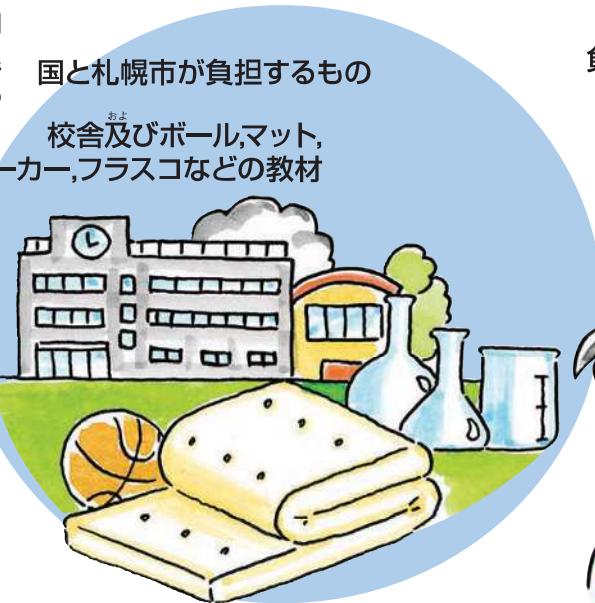
よし子さんは、税金のことを調べるなら「税務署」と考え、札幌中税務署に問い合わせて、次のようなことを調べました。



1年間で小学生一人のために使われる税金は、

約114万円

(令和元年度 北海道)



国と札幌市が負担するもの
校舎及びボール、マット、
ビーカー、プラスコなどの教材

国や北海道や札幌市が、税金を使って買ったものがたくさんあるよ。
このシールは札幌市で買ったことを表しているよ。



他にもあるかな? 探してみよう!

よし子さんの報告を聞き、まなぶさんは、学校には図書室の本以外にも無料で使っているものがたくさんあることに気づきました。

そこで、「学校探偵団」を結成し、シールのついたものを探すことになりました。

学校探偵団 報告書

シールについていたもの	



国が
負担するもの
教科書

楽しい学校生活は、
税金のおかげ
だったんだ!



そういうば、教科書は
ずっとタダで
もらっていたなあ…

